

6920

六月十一日

第一九一號

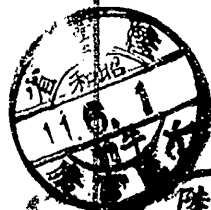
東警參密第一六號

東京警備規定改正及第一師團滿洲派遣
間ノ警備ニ關スル指示ノ件報告

昭和十一年五月三十日 東京警備司令官 岩越 恆

陸軍大臣 伯爵 寺内 壽一 殿

東京警備規定ヲ別冊ノ通改正シ又第一師團主力滿洲派遣間東京警備
區域内警備ニ關シ昭和十一年四月軍令陸乙第十五號ニ基キ別冊ノ通
リ指示セルニ付報告ス



陸



東京警備司令部

0220

秘

第一師團主力滿洲派遣間東京警備ニ關スル指示

昭和十一年五月二十日
東京警備司令部調製

第一師團主力滿洲派遣間東京警備ニ關スル指示

第一 第一師團主力滿洲派遣間戒嚴解止後各部隊ハ東京警備規定ノ外本書ニ據リ警備ニ任スルモノトス

第二 東京警備司令官ハ東京警備區域内ニ在ル近衛、第一兩師團ノ各部隊並他師團ヨリ増加配屬セラレタル部隊ノ外昭和十一年四月十八日軍令陸乙第十五號ニ基キ緊急已ムヲ得サル時ハ第一師管内ニ在ル軍隊及教導隊、練習隊、學生隊又ハ生徒隊ヲ有スル陸軍諸學校ヲ指揮シ警備區域内ノ警備ニ任ズ

第三 第一師團主力滿洲派遣間ニ於ケル近衛師團長及第一師團留守司令官ノ警備擔任管區ヲ左ノ通り定ム

近衛師團長

赤坂區、澁谷區、世田ヶ谷區、目黒區、品川區、大森區、蒲田區及第一師

團擔任ノ衛戍衛兵派遣箇所ヲ除ク東京市、
但シ赤坂離宮、青山御所及秩父宮邸ノ警備ハ近衛師團長ノ擔任トス

第一師團留守司令官

近衛師團長擔任管區ヲ除ク東京警備區域

第四 東京警備司令官ニ配屬セラレタル他師團ノ部隊ハ之ヲ第一師團留守司令官ニ
轉屬ス

第一師團留守司令官ハ配屬部隊ヲ以テ主トシテ東京陸軍兵器支廠、赤羽火藥庫、
陸軍造兵廠火工廠本部及同十條兵器製造所、同火工場、陸軍造兵廠火工廠板橋火
藥製造所(板橋火藥庫ヲ含ム)及東京衛戍刑務所並代々木練兵場假兵舎ノ衛戍衛兵
ニ任スルモノトス

第五 第一師團留守司令官ハ緊急已ムヲ得サル時ハ騎兵第十五聯隊若クハ同第十六
聯隊ヲ招致シ之ヲ其警備擔任管區内ニ使用スルコトヲ得

第六 非常又ハ大ナル災害ニ際シ緊急已ムヲ得サル場合ニ於テハ東京警備司令官ハ陸軍工科學校生徒隊主力ヲ陸軍造兵廠火工廠本部及同十條兵器製造所(同火工場ヲ含ム)ニ一部(同校分校生徒隊)ヲ火工廠板橋火藥製造所(板橋火藥庫ヲ含ム)ニ派遣シ十條兵器製造所衛戍衛兵總司令ノ區處ニ從ヒ前記各衛戍衛兵ニ協力セシムルモノトス

陸軍工科學校長ハ事急ヲ要スルモノト認ムル場合ニ於テ命ヲ待タス前項要領ニ從ヒ前項ノ箇所ニ生徒隊ヲ赴援スルモノトス

前二項ノ警備ノ爲要スル彈藥ハ赴援箇所ノ衛戍衛兵所備付彈藥ヲ使用スルモノトス

第七 第一師團留守司令官ハ東京警備規定第十二條ニ定ムル歩兵一大隊ニ代リ戰車

第二聯隊主力ヲ東京警備司令官ノ使用ニ供シ得ル如ク準備シ置クモノトス

第八 第一師團留守司令官ハ東京警備規定第十五條ニ關シテハ工兵水上救助隊ノミ

ヲ準備スルモノトス

第九 陸軍工兵學校長ハ必要ニ應ジ教導隊ヲ以テ東京警備規定第十五條ニ示ス工兵破壊隊一隊ノ外電氣作業隊(約百名)一隊ヲ編成シ其殘餘ト共ニ東京警備司令官ノ直轄タラシムル如ク準備スルモノトス

第十 陸軍自動車學校長ハ東京警備規定第十二條ニ示ス自動車部隊ヲ東京警備司令官ノ直轄タラシムル外練習隊主力ヲ第一師團留守司令官ノ指揮ニ屬セシムル如ク準備シ置クモノトス

第十一 前諸號ニ示ス以外ノ軍隊及學校ノ使用ニ關シテハ情況ニ依リ東京警備司令官之ヲ定ム

近衛師團長及第一師團留守司令官ハ陸軍士官學校各生徒隊若クハ陸軍經理學校生徒隊ヲ配屬セラレタル場合ニ於テハ成ルヘク之ヲ禁關守衛勤務ノ補助、皇族邸、王(公)族邸、外國公館等ノ警備ニ使用シ積極的鎮壓行動等ニハ努メテ之カ使用ヲ

避クルモノトス

第十二 東京警備區域外ノ各軍隊(第一師團隸下各留守部隊ヲ除ク)竝、第一師管内ニ在ル教導隊、練習隊、學生隊又ハ生徒隊ヲ有スル陸軍諸學校ハ東京警備規定第十四條ニ準シ連絡者ヲ東京警備司令部ニ派遣シ得ル如ク準備シ非常又ハ大ナル災害等ニ際シテハ別命ヲ待タス之ヲ東京警備司令部ニ派遣スルモノトス

第十三 東京警備規定第十條ニ定ムル師團長及憲兵司令官ノ報告ハ第一師管内各隸下全團隊ヲ含ムモノトス

第十四 第一師管内ニ在ル教導隊、練習隊、學生隊又ハ生徒隊ヲ有スル陸軍諸學校ハ毎年度演習出張其他ニ關スル業務豫定及其變更アル場合ニ於テハ其都度事前ニ之ヲ東京警備司令部ニ報告スルモノトス

9270

東京警備規定

昭和十一年五月二十日
東京警備司令部調製

2220

東警參第二九號

東京警備規定ヲ本書ノ通改正ス

昭和十一年五月二十日

東京警備司令官
兼東部防衛司令官

岩 越 恒 一

東京警備規定

目次

第一章 總則	一頁
第二章 準備	二
第三章 兵力使用	七
第四章 宿營、給養	一一
第五章 經理、衛生	一一
第六章 通報、報告及記錄	一二

東京警備規定

第一章 總則

第一條 本規定ハ東京警備區域内ニ於ケル非常又ハ大ナル災害ヲ顧慮シ治安維持若ハ災害救助ノ爲兵力使用ニ關スル事項ヲ規定ス

戰時事變及戒嚴時ニ於テモ特ニ規定スルモノノ外本規定ヲ準用スルモノトス

第二條 東京衛戍地域内ニ於ケル前條以外ノ警備ニ關シテハ東京衛戍服務規則ニ據ルモノトス

第三條 警備ノ爲出動スル軍隊ハ特ニ指示スルモノノ外衛戍勤務令ニ準據シ行動スルモノトス

第四條 近衛、第一兩師團長（留守師團長又ハ留守司令官ヲ含ミ以下單ニ師團長ト稱ス）及憲兵司令官ハ本規定ニ基キ更ニ計畫及準備ヲ爲シ之ヲ東京警備司令官（以

下單ニ警備司令官ト稱スニ報告スルモノトス

第二章 準備

第五條 東京警備司令部令第一條ニ基ク東京警備區域内近衛、第一兩師團ノ警備擔任管區ヲ左ノ如ク定ム

近衛師團警備擔任管區

東京市中左記ヲ除ク區域

京橋區、芝區、赤坂區、麻布區、澁谷區、世田谷區、目黒區、荏原區、品川區、大森區、蒲田區及「四谷見付―半藏門―三宅坂―櫻田門―數寄屋橋ヲ連ヌル道路（之ヲ含ム）以南ノ麴町區」

但赤坂離宮、青山御所及秩父宮邸ノ警備ハ近衛師團ノ擔任トス

第一師團警備擔任管區

近衛師團警備擔任管區ヲ除ク東京警備區域

第六條 警備司令官ハ警備區域(東京警備區域ヲ略稱ス以下同シ)内各聯合防護團ノ編成各官衙ノ自衛組織其他警備ニ必要ナル事項ヲ調査シ所要ノ事項ハ之ヲ師團及憲兵司令官其他關係各部隊ニ通報スルモノトス

第七條 師團長ハ其警備擔任管区内ニ於ケル警備上顧慮ヲ要スヘキ地域、場所、物件等ノ状態ヲ調査シ又第一師團長ハ警備區域内在郷軍人會ニ關シ治安維持ノ爲使用シ得ベキ人員並其状態ヲ調査シ尙憲兵司令官ハ警備區域内要警備物件自衛準備ノ狀況ヲ調査シ夫々毎年九月三十日迄ニ之ヲ報告スルモノトス

第八條 憲兵司令官ハ警備ニ關スル諸情況ヲ調査シ機ヲ逸セス之ヲ警備司令官ニ報告スル外所要ニ應シ之ヲ師團長ニ通報スルモノトス

第九條 師團長ハ其擔任管區ニ於ケル憲兵、警察官其他ト警備上必要ノ協定ヲ遂ケ置クモノトス

第十條 師團長ハ秋季演習出張間ニ於ケル部下團隊ノ出動可能情況（補助憲兵ヲ含

ム）ヲ其出發約一週間前附表第一ニ依リ報告スルモノトス

憲兵司令官ノ特別大演習及近衛、第一兩師團秋季演習間ニ於ケル警備區域内現在
兵力ノ報告亦右ニ準ス

尙師團長ハ在京隸下各團隊ヲシテ演習等ノ爲出張、歸還ノ都度直接之ヲ警備司令
部ニ報告セシムルモノトス

第十一條 第二師團長警備上ノ必要ニ基キ警備區域内ノ軍隊ヲ該區域外ニ派遣セン
トスル時ハ豫メ警備司令官ノ承認ヲ受クルモノトス

警備區域内ニ於ケル補助憲兵ノ任命並請求ニ關スル師團長及憲兵司令官ノ手續ハ
警備司令官ヲ經由スルモノトス

第十二條 師團長ハ非常又ハ大ナル災害等ニ際シ歩兵一大隊（平時編制ヲ基準トス）

電信聯隊ノ主力並野戰重砲兵第八聯隊ノ有スル各種自動車ノ大部ヲ警備司令官ノ

使用ニ供シ得ル如ク準備シ置クモノトス

右ノ外警備司令官ハ昭和二年四月陸普第一五六八號ニ據リ警備上急ヲ要スル場合ニ限リ陸軍自動車學校長ト直接協議ノ上同校乗用自動車二、自動貨車一五、側車

第十三條 常設通信破壊等ノ場合ヲ顧慮シ兩師團及警備司令官直轄電信聯隊ハ警備

司令部ヲ基點トシ機ヲ失セス左ノ如ク通信網ヲ構成シ得ル如ク準備スルモノトス

近衛師團

近衛師團司令部、憲兵司令部、東京憲兵隊本部及宮内省ト警備司令部トノ間

第二師團

第一師團司令部、内務省、警視廳、衛戍刑務所ト警備司令部トノ間

東京警備司令官直轄電信聯隊

神奈川縣廳、横濱憲兵隊本部ト警備司令部トノ間（無線通信トス）

東京憲兵隊本部ト東京警備區域内隸下各憲兵分隊トノ間

東京陸軍兵器支廠、赤羽火藥庫、陸軍造兵廠火工廠ト警備司令部トノ間

第十四條 師團及憲兵司令部ハ必要ニ際シ速ニ左ノ連絡者及傳令ヲ警備司令部ニ派遣シ得ル如ク準備シ置クモノトス

憲兵司令部 連絡將校又ハ下士官一

近衛師團 連絡將校一、自轉車傳令(自轉車共)二、側車附自動二輪車(運轉手共)一

第一師團 連絡將校一、自轉車傳令(自轉車共)一、乘馬傳令下士官以下五
第十五條 師團長ハ必要ニ際シ工兵破壊隊(約五十名)、工兵水上救助隊(約十五隻)、
救療班(歩兵大隊ノ隊總務所ニ準スル能力ヲ有スルモノ)各一箇ヲ派遣シ得ル如ク
準備スルモノトス

工兵不在間ニ在リテモ右ニ準シ派遣シ得ル如ク準備スルモノトス

前二項ノ準備ニ關シテハ第四條ニ於テ定ムルモノト同時ニ警備司令官ニ報告スルモノトス

第三章 兵力使用

第十六條 情況兵力使用ノ虞アルニ至ラハ警備司令官ハ兩師團ヲシテ所要ノ出動準備(遠距離出張ノ禁止、出張部隊ノ招還、應急出動準備部隊ノ指定、通信施設、出動可能狀況ノ調査等)ヲ整ヘシメ要スレハ之ニ先チ補助憲兵差出ニ關シ指示スルモノトス

第十七條 師團及憲兵司令部ハ非常又ハ大ナル災害等ニ際シテハ別命ヲ待タス第十四條ノ連絡者及傳令ヲ警備司令部ニ派遣スルモノトス

第十八條 直接警備ノ爲軍隊ヲ出動セシメントスル時ハ通常警備擔任管區ニ從ヒ師團長ニ命令ヲ與フルモノトス其命令ニ示スヘキ事項概ネ次ノ如シ

一 警備上必要ナル情況

二 警備任務(警備スヘキ區域(方面)場所、物件要スルハ民心安定、治安維持ニ關スル指示)、衛戍衛兵ノ存否及擔任ニ關スル件

三 憲兵、警察官トノ協力ニ關スル件要スレハ一部憲兵ノ配屬

四 編成要スレハ裝備及彈藥ニ關スル指示

五 出動若ハ配備完了ノ時期

六 通信連絡特ニ地方官憲其他トノ連絡ニ關スル件要スレハ情報及告諭等傳達揭示ニ關スル件

七 出動部隊ノ輸送、宿營、給養ニ關スル件

八 爲シ得レハ豫想警備繼續期間等ノ内示

第十九條 前條ノ場合師團長ハ其出動部隊ヲシテ師團ノ警備擔任管區内ニ在ル左記場所物件中特ニ重要ナルモノヲ警備セシメ其他ハ努メテ之ヲ集結シ成ルヘク機動

兵力ヲ大ナラシムルモノトス

左記

皇(王、公)族邸、重要官公衙、外國公館、重要物資集積所、重要銀行、重要電力機關、交通通信要點就中電信(無線ヲ含ム)、電話局(分局)、「ラヂオ」放送局、橋梁、停車場、埠頭、水道淨水場、貯水池並送水路、爆發物格納所、刑務所其他公益及治安維持ノ爲重要ナル場所物件等

第二十條 騷擾鎮壓ノ爲出動スル部隊ハ之ヲ警備司令官ノ直轄トスヘキヤ或ハ師團長ノ隸下ニ在ラシムヘキヤハ臨機之ヲ指示ス

第二十一條 前條ノ出動部隊ニ與フル命令ニ示スヘキ事項概ネ次ノ如シ

一 特ニ必要ナル情況

二 出動部隊ノ兵力、編組及指揮ノ系統

三 鎮壓任務要スレハ行動ノ準據トナルヘキ事項特ニ兵器使用ニ關スル件

四 裝備及彈藥ニ關スル指示

五 出動若ハ現場到着日時

六 憲兵トノ協力ニ關スル事項

七 通信連絡特ニ地方官憲トノ連絡ニ關スル件

八 出動部隊ノ輸送、宿營、給養ニ關スル件

九 鎮定後ニ於ケル處置

第二十二條 出動部隊ノ服裝ハ別命ナキ時ハ輕易ナル軍裝トシ彈藥若干糧秣一日分ヲ携行スルヲ例トス

第二十三條 災害救助ノ爲軍隊ノ出動ニ關シテハ臨機之ヲ指示ス

第二十四條 軍隊ヲ出動セシメタル時ハ所要ニ應シ憲兵司令官ニ一部憲兵ノ配屬又ハ出動軍隊トノ協同連絡ニ付命令ヲ與フルモノトス

第二十五條 軍隊ヲ出動セシメタル時ハ警備司令官ハ新聞掲載、文書揭示、「ラヂオ」

放逐、航空機ニ依ル文書撤布等ノ方法ニ依リ速ニ一般民衆ニ對シ軍隊出動ノ主旨、兵器使用、民衆ノ心得其他必要ナル事項ヲ告諭スルモノトス

第四章 宿營、給養

第二十六條 出動部隊ノ宿營ニ關シテハ陣中要務令ヲ準用スルモノトス但民衆ノ妨害、民衆ノ誤解等ヲ避クル爲官有廳舎、學校、寺院其他公共建築物ヲ選擇シ成ルヘク民衆ノ使用ヲ避クルヲ可トス

第二十七條 出動部隊ノ給養ハ特ニ指示スル場合ノ外平時給與ノ諸規則ニ據ルモノトス而シテ其方法及之カ實施ニ關シテハ師團ニ於テ適宜定ムルモノトス

第五章 經理、衛生

第二十八條 警備若ハ鎮壓ノ爲出動スル軍隊ノ出動當初所要ノ經費ハ其當時保管セ

ル前渡資金又ハ委任經理金ヲ携行シ繰替支辨シ置クモノトス

第二十九條 前條ノ場合ニ在リテハ直ニ所管經理部ニ連絡シ之カ整理費目ニ關シ指示ヲ受ケ戻入整理ヲ爲スモノトス

新ニ豫算ヲ定メラレタル時亦前項ニ同シ

第三十條 出動軍隊ニ要スル物品諸材料ハ努メテ平時品ヲ使用シ已ムヲ得サルモノハ借入、購入ニ依リ徵發ハ努メテ之ヲ避クルヲ要ス

第三十一條 出動部隊ニ屬スル患者ノ取扱ハ陣中要務令ノ規定ニ準スルモノトス

第三十二條 出動部隊附衛生部々員ハ其本務ニ支障ナキ限り地方民ニ對シ應急ノ處置ヲ施スコトヲ得

第六章 通報、報告及記錄

第三十三條 軍隊ヲ出動セシメタル場合ニ於テハ情況ニ應シ日々若ハ適當ノ日時ニ

於テ關係各部隊ノ命令受領者ヲ警備司令部ニ參集セシメ會報ヲ行フモノトス
 第三十四條 出動部隊ハ出動直後ノ配置及爾後ニ於ケル其變更ハ機ヲ逸セス之ヲ報告スルモノトス

第三十五條 騷擾鎮壓ノ爲出動セル軍隊ハ絶エス其情況ヲ報告シ特ニ鎮定ノ目的ヲ達シタル時ハ速ニ其要旨ヲ報告シ後之ヲ詳報スルモノトス

第三十六條 出動部隊兵器ヲ使用シタル時ハ速ニ其要旨ヲ報告シ且最寄憲兵ニ通報シ後事由ヲ詳報スルモノトス

師團長ハ前項ノ場合要スレハ機ヲ逸セス法務官ヲシテ其事實ヲ審査セシメ調書ヲ作製シ警備司令官ニ報告スルモノトス

憲兵司令官ハ部下憲兵ノ事實調査報告ヲ受クレハ直ニ之ヲ警備司令官ニ報告スルモノトス

第三十七條 軍隊出動シタル時ハ師團、憲兵司令部及警備司令官直轄部隊ハ概ネ左

記項目ニ就キ警備旬報ヲ提出スルモノトス

- 一 一般情況(警備ニ關係アル地方ノ民情等ヲ含ム)
- 二 軍隊ノ行動及配置
- 三 行政、司法ニ關スル事項並部外トノ連絡ニ關スル事項
- 四 航空、交通、通信、連絡ニ關スル事項(地方ノ情況ヲ含ム)
- 五 輸送ニ關スル事項
- 六 宣傳ニ關スル事項
- 七 衛生ニ關スル事項(地方衛生狀態ヲ含ム)
- 八 救護ニ關スル事項
- 九 作業ニ關スル事項
- 十 宿營、給養、經理、補給ニ關スル事項
- 十一 雜件

第三十八條 聯隊以上ノ諸隊（聯隊ヲ成ササル部隊ハ大隊）ハ警備勤務終了後（兵營歸著後）二週間以内ニ警備詳報五通ヲ提出スルモノトス

本詳報ハ用兵、教育、警備勤務、交通、通信、輸送、宿營、給養、經理、衛生、宣傳、作業、司法、行政其他ノ項目ニ分チ將來ノ參考ト爲ルヘキ各團隊ノ實驗及所見ヲ蒐集スルヲ目的トス

本詳報ハ一件毎ニ別紙トシ且毎紙部隊號ヲ記入スルモノトス

第三十九條 警備司令部内各部及警備ニ關係アル各部隊ハ陣中日誌ニ準シ警備日誌ヲ記録スルモノトス

製法上ノ注意

人員ヲ在營人員中ニ區分別記ス

世體

14

0295

祕

第一師團主力滿洲派遣間東京警備ニ關スル指示

昭和十一年五月二十日
東京警備司令部調製

第一師團主力滿洲派遣間東京警備ニ關スル指示

第一 第一師團主力滿洲派遣間戒嚴解止後各部隊ハ東京警備規定ノ外本書ニ據リ警備ニ任スルモノトス

第二 東京警備司令官ハ東京警備區域内ニ在ル近衛、第一兩師團ノ各部隊竝他師團ヨリ増加配屬セラレタル部隊ノ外昭和十一年四月十八日軍令陸乙第十五號ニ基キ緊急已ムヲ得サル時ハ第一師管内ニ在ル軍隊及教導隊、練習隊、學生隊又ハ生徒徒隊ヲ有スル陸軍諸學校ヲ指揮シ警備區域内ノ警備ニ任ス

第三 第一師團主力滿洲派遣間ニ於ケル近衛師團長及第一師團留守司令官ノ警備擔任管區ヲ左ノ通り定ム

近衛師團長

赤坂區、澁谷區、世田ヶ谷區、目黒區、品川區、大森區、蒲田區及第一師

團擔任ノ衛戍衛兵派遣箇所ヲ除ク東京市

但シ赤坂離宮、青山御所及秩父宮邸ノ警備ハ近衛師團長ノ擔任トス

第一師團留守司令官

近衛師團長擔任管區ヲ除ク東京警備區域

第四 東京警備司令官ニ配屬セラレタル他師團ノ部隊ハ之ヲ第一師團留守司令官ニ轉屬ス

第一師團留守司令官ハ配屬部隊ヲ以テ主トシテ東京陸軍兵器支廠、赤羽火藥庫、陸軍造兵廠火工廠本部及同十條兵器製造所、同火工場、陸軍造兵廠火工廠板橋火藥製造所(板橋火藥庫ヲ含ム)及東京衛戍刑務所並代々木練兵場假兵舎ノ衛戍衛兵ニ任スルモノトス

第五 第二師團留守司令官ハ緊急已ムヲ得サル時ハ騎兵第十五聯隊若クハ同第十六聯隊ヲ招致シ之ヲ其警備擔任管區内ニ使用スルコトヲ得

第六 非常又ハ大ナル災害ニ際シ緊急已ムヲ得サル場合ニ於テハ東京警備司令官ハ陸軍工科學校生徒隊主力ヲ陸軍造兵廠火工廠本部及同十條兵器製造所(同火工場ヲ含ム)ニ一部(同校分校生徒隊)ヲ火工廠板橋火藥製造所(板橋火藥庫ヲ含ム)ニ派遣シ十條兵器製造所衛戍衛兵總司令ノ區處ニ從ヒ前記各衛戍衛兵ニ協力セシムルモノトス

陸軍工科學校長ハ事急ヲ要スルモノト認ムル場合ニ於テ命ヲ待タス前項要領ニ從ヒ前項ノ箇所ニ生徒隊ヲ赴援スルモノトス
前二項ノ警備ノ爲要スル彈藥ハ赴援箇所ノ衛戍衛兵所備付彈藥ヲ使用スルモノトス

第七 第一師團留守司令官ハ東京警備規定第十二條ニ定ムル歩兵一大隊ニ代リ戰車第二聯隊主力ヲ東京警備司令官ノ使用ニ供シ得ル如ク準備シ置クモノトス

第八 第一師團留守司令官ハ東京警備規定第十五條ニ關シテハ工兵水上救助隊ノミ

ミヲ準備スルモノトス

第九 陸軍工兵學校長ハ必要ニ應シ教導隊ヲ以テ東京警備規定第十五條ニ示ス工兵
破壊隊一隊ノ外電氣作業隊(約百名)一隊ヲ編成シ其殘餘ト共ニ東京警備司令官ノ
直轄タラシムル如ク準備スルモノトス

第十 陸軍自動車學校長ハ東京警備規定第十二條ニ示シ自動車部隊ヲ東京警備司令
官ノ直轄タラシムル外練習隊主力ヲ第一師團留守司令官ノ指揮ニ屬セシムル如ク
準備シ置クモノトス

第十一 前諸號ニ示ス以外ノ軍隊及學校ノ使用ニ關シテハ情況ニ依リ東京警備司令
官之ヲ定ム

近衛師團長及第一師團留守司令官ハ陸軍士官學校各生徒隊若クハ陸軍經理學校生
徒隊ヲ配屬セラレタル場合ニ於テハ成ルヘク之ヲ禁關守衛勤務ノ補助ハ皇族邸、
王(公)族邸、外國公館等ノ警備ニ使用シ積極的鎮壓行動等ニハ努メテ之ヲ使用ヲ

避クルモノトス

第十二 東京警備區域外ノ各軍隊(第一師團隸下各留守部隊ヲ除ク)竝、第一師管内ニ在ル教導隊、練習隊、學生隊又ハ生徒隊ヲ有スル陸軍諸學校ハ東京警備規定第十四條ニ準シ連絡者ヲ東京警備司令部ニ派遣シ得ル如ク準備シ非常又ハ大ナル災害等ニ際シテハ別命ヲ待タス之ヲ東京警備司令部ニ派遣スルモノトス

第十三 東京警備規定第十條ニ定ムル師團長及憲兵司令官ノ報告ハ第一師管内各隸下全團隊ヲ含ムモノトス

第十四 第一師管内ニ在ル教導隊、練習隊、學生隊又ハ生徒隊ヲ有スル陸軍諸學校ハ毎年度演習出張其他ニ關スル業事豫定及其變更アル場合ニ於テハ其都度事前ニ之ヲ東京警備司令部ニ報告スルモノトス

0301

東京警備規定

昭和十一年五月二十日
東京警備司令部調製

2080

東警參第二九號

東京警備規定ヲ本書ノ通改正ス

昭和十一年五月二十日

東京警備司令官
兼東部防衛司令官

岩越恒一

東京警備規定

目次

第一章 總則	一頁
第二章 準備	二
第三章 兵力使用	七
第四章 宿營、給養	一一
第五章 經理、衛生	一一
第六章 通報、報告及記錄	一二

東京警備規定

第一章 總則

第一條 本規定ハ東京警備區域内ニ於ケル非常又ハ大ナル災害ヲ顧慮シ治安維持若ハ災害救助ノ爲兵力使用ニ關スル事項ヲ規定ス

戰時事變及戒嚴時ニ於テモ特ニ規定スルモノノ外本規定ヲ準用スルモノトス

第二條 東京衛戍地域内ニ於ケル前條以外ノ警備ニ關シテハ東京衛戍服務規則ニ據ルモノトス

第三條 警備ノ爲出動スル軍隊ハ特ニ指示スルモノノ外衛戍勤務令ニ準據シ行動スルモノトス

第四條 近衛、第一兩師團長(留守師團長又ハ留守司令官ヲ含ミ以下單ニ師團長ト稱ス)及憲兵司令官ハ本規定ニ基キ更ニ計畫及準備ヲ爲シ之ヲ東京警備司令官(以

下單ニ警備司令官ト稱スニ報告スルモノトス

第二章 準備

第五條 東京警備司令部令第一條ニ基ク東京警備區域内近衛、第一兩師團ノ警備擔任管區ヲ左ノ如ク定ム

近衛師團警備擔任管區

東京市中左記ヲ除ク區域

京橋區、芝區、赤坂區、麻布區、澁谷區、世田谷區、目黒區、荏原區、品川區、大森區、蒲田區及「四谷見付―半藏門―三宅坂―櫻田門―數寄屋橋ヲ連ヌル道路（之ヲ含ム）以南ノ麴町區」

但赤坂離宮、青山御所及秩父宮邸ノ警備ハ近衛師團ノ擔任トス

第一師團警備擔任管區

近衛師團警備擔任管區ヲ除ク東京警備區域

第六條 警備司令部ハ警備區域(東京警備區域ヲ略稱ス以下同シ)内各聯合防護團ノ編成各官衙ノ自衛組織其他警備ニ必要ナル事項ヲ調査シ所要ノ事項ハ之ヲ師團及憲兵司令部其他關係各部隊ニ通報スルモノトス

第七條 師團長ハ其警備擔任管区内ニ於ケル警備上顧慮ヲ要スヘキ地域、場所、物件等ノ狀態ヲ調査シ又第一師團長ハ警備區域内在郷軍人會ニ關シ治安維持ノ爲使
用シ得ヘキ人員並其狀態ヲ調査シ尙憲兵司令官ハ警備區域内要警備物件自衛準備
ノ狀況ヲ調査シ夫々毎年九月三十日迄ニ之ヲ報告スルモノトス

第八條 憲兵司令官ハ警備ニ關スル諸情況ヲ調査シ機ヲ逸セス之ヲ警備司令官ニ報告スル外所要ニ應シ之ヲ師團長ニ通報スルモノトス

第九條 師團長ハ其擔任管區ニ於ケル憲兵、警察官其他ト警備上必要ノ協定ヲ遂ケ
置クモノトス

第十條 師團長ハ秋季演習出張ニ於ケル部下團隊ノ出動可能情況（補助憲兵ヲ含ム）ヲ其出發約一週間前附表第一ニ依リ報告スルモノトス

憲兵司令官ノ特別大演習及近衛、第一兩師團秋季演習間ニ於ケル警備區域内現在兵力ノ報告亦右ニ準ス

尙師團長ハ在京隸下各團隊ヲシテ演習等ノ爲出張、歸還ノ都度直接之ヲ警備司令部ニ報告セシムルモノトス

第十一條 第一師團長警備上ノ必要ニ基キ警備區域内ノ軍隊ヲ該區域外ニ派遣セントスル時ハ豫メ警備司令官ノ承認ヲ受クルモノトス

警備區域内ニ於ケル補助憲兵ノ任命並請求ニ關スル師團長及憲兵司令官ノ手續ハ警備司令官ヲ經由スルモノトス

第十二條 師團長ハ非常又ハ大ナル災害等ニ際シ歩兵一大隊（平時編制ヲ基準トス）電信聯隊ノ主力並野戰重砲兵第八聯隊ノ有スル各種自動車ノ大部ヲ警備司令官ノ

使用ニ供シ得ル如ク準備シ置クモノトス

右ノ外警備司令官ハ昭和二年四月陸普第一五六八號ニ據リ警備上急ヲ要スル場合

ニ限リ陸軍自動車學校長ト直接協議ノ上同校乗用自動車二、自動貨車一五、側車

附自動車二輪車二以内ノ自動車及之カ指揮、運轉ニ要スル人員ヲ使用スルモノトス

第十三條 常設通信破壊等ノ場合ヲ顧慮シ兩師團及警備司令官直轄電信聯隊ハ警備

司令部ヲ基點トシ機ヲ失セス左ノ如ク通信網ヲ構成シ得ル如ク準備スルモノトス

近衛師團

近衛師團司令部、憲兵司令部、東京憲兵隊本部及宮内省ト警備司令部トノ間

第一師團

第一師團司令部、内務省、警視廳、衛戍刑務所ト警備司令部トノ間

東京警備司令官直轄電信聯隊

神奈川縣廳、横浜憲兵隊本部ト警備司令部トノ間（無線通信トス）

東京憲兵隊本部ト東京警備區域内隸下各憲兵分隊トノ間

東京陸軍兵器支廠、赤羽火藥庫、陸軍造兵廠火工廠ト警備司令部トノ間

第十四條 師團及憲兵司令部ハ必要ニ際シ速ニ左ノ連絡者及傳令ヲ警備司令部ニ派遣シ得ル如ク準備シ置クモノトス

憲兵司令部 連絡將校又ハ下士官一

近衛師團 連絡將校一、自轉車傳令(自轉車共)二、側車附自動二輪車(運轉手共)一

第一師團 連絡將校一、自轉車傳令(自轉車共)一、乘馬傳令下士官以下五第十五條 師團長ハ必要ニ際シ工兵破壞隊(約五十名)、工兵水上救助隊(約十五隻)、救療班(歩兵大隊ノ隊綱帶所ニ準スル能力ヲ有スルモノ)各一箇ヲ派遣シ得ル如ク準備スルモノトス

工兵不在間ニ在リテモ右ニ準シ派遣シ得ル如ク準備スルモノトス

前二項ノ準備ニ關シテハ第四條ニ於テ定ムルモノト同時ニ警備司令官ニ報告スルモノトス

第三章 兵力使用

第十六條 情況兵力使用ノ虞アルニ至ラハ警備司令官ハ兩師團ヲシテ所要ノ出動準備（遠距離出張ノ禁止、出張部隊ノ招還、應急出動準備部隊ノ指定、通信施設、出動可能狀況ノ調査等）ヲ整ヘシメ要スレハ之ニ先チ補助憲兵差出ニ關シ指示スルモノトス

第十七條 師團及憲兵司令部ハ非常又ハ大ナル災害等ニ際シテハ別命ヲ待タズ第十四條ノ連絡者及傳令ヲ警備司令部ニ派遣スルモノトス

第十八條 直接警備ノ爲軍隊ヲ出動セシメントスル時ハ通常警備擔任管區ニ從ヒ師團長ニ命令ヲ與フルモノトス其命令ニ示スヘキ事項概テ次ノ如シ

- 一 警備上必要ナル情況
 - 二 警備任務(警備スヘキ區域(方面)場所、物件要スルハ民心安定、治安維持ニ關スル指示)、衛戍衛兵ノ存否及擔任ニ關スル件
 - 三 憲兵、警察官トノ協力ニ關スル件要スレハ一部憲兵ノ配屬
 - 四 編成要スレハ裝備及彈藥ニ關スル指示
 - 五 出動若ハ配備完了ノ時期
 - 六 通信連絡特ニ地方官憲其他トノ連絡ニ關スル件要スレハ情報及告諭等傳達揭示ニ關スル件
 - 七 出動部隊ノ輸送、宿營、給養ニ關スル件
 - 八 爲シ得レハ豫想警備繼續期間等ノ内示
- 第十九條 前條ノ場合師團長ハ其出動部隊ヲシテ師團ノ警備擔任管區内ニ在ル左記場所物件中特ニ重要ナルモノヲ警備セシメ其他ハ努メテ之ヲ集結シ成ルヘク機動

兵力ヲ大ナラシムルモノトス

左記

皇(王、公)族邸、重要官公衙、外國公館、重要物資集積所、重要銀行、重要電力機關、交通通信要點就中電信(無線ヲ含ム)、電話局(分局)、「ラヂオ」放送局、橋梁、停車場、埠頭、水道淨水場、貯水池並送水路、爆發物格納所、刑務所其他公益及治安維持ノ爲重要ナル場所物件等

第二十條 騷擾鎮壓ノ爲出動スル部隊ハ之ヲ警備司令官ノ直轄トスヘキヤ或ハ師團長ノ隸下ニ在ラシムヘキヤハ臨機之ヲ指示ス

第二十一條 前條ノ出動部隊ニ與フル命令ニ示スヘキ事項概テ次ノ如シ

- 一 特ニ必要ナル情況
- 二 出動部隊ノ兵力、編組及指揮ノ系統
- 三 鎮壓任務要スレハ行動ノ準據トナルヘキ事項特ニ兵器使用ニ關スル件

四 裝備及彈藥ニ關スル指示

五 出動若ハ現場到着日時

六 憲兵トノ協力ニ關スル事項

七 通信連絡特ニ地方官憲トノ連絡ニ關スル件

八 出動部隊ノ輸送、宿營、給養ニ關スル件

九 鎮定後ニ於ケル處置

第二十二條 出動部隊ノ服裝ハ別命ナキ時ハ輕易ナル軍裝トシ彈藥若干糧秣一日分ヲ携行スルヲ例トス

第二十三條 災害救助ノ爲軍隊ノ出動ニ關シテハ臨機之ヲ指示ス

第二十四條 軍隊ヲ出動セシメタル時ハ所要ニ應シ憲兵司令官ニ一部憲兵ノ配屬又ハ出動軍隊トノ協同連絡ニ付命令ヲ與フルモノトス

第二十五條 軍隊ヲ出動セシメタル時ハ警備司令官ハ新聞掲載、文書揭示、「ラヂオ」

放送、航空機ニ依ル文書撒布等ノ方法ニ依リ速ニ一般民衆ニ對シ軍隊出動ノ主旨、兵器使用、民衆ノ心得其他必要ナル事項ヲ告諭スルモノトス

第四章 宿營、給養

第二十六條 出動部隊ノ宿營ニ關シテハ陣中要務令ヲ準用スルモノトス但民衆ノ妨害、民衆ノ誤解等ヲ避クル爲官有廳舎、學校、寺院其他公共建築物ヲ選擇シ成ルヘク民衆ノ使用ヲ避クルヲ可トス

第二十七條 出動部隊ノ給養ハ特ニ指示スル場合ノ外平時給與ノ諸規則ニ據ルモノトス而シテ其方法及之カ實施ニ關シテハ師團ニ於テ適宜定ムルモノトス

第五章 經理、衛生

第二十八條 警備若ハ鎮壓ノ爲出動スル軍隊ノ出動當初所要ノ經費ハ其當時保管セ

前渡資金又ハ委任經理金ヲ携行シ繰替支辨シ置クモノトス

第二十九條 前條ノ場合ニ在リテハ直ニ所管經理部ニ連絡シ之カ整理費目ニ關シ指示ヲ受ケ戻入整理ヲ爲スモノトス

新ニ豫算ヲ定メラレタル時亦前項ニ同シ

第三十條 出動軍隊ニ要スル物品諸材料ハ努メテ平時品ヲ使用シ已ムヲ得サルモノハ借入、購入ニ依リ徵發ハ努メテ之ヲ避クルヲ要ス

第三十一條 出動部隊ニ屬スル患者ノ取扱ハ陣中要務令ノ規定ニ準スルモノトス

第三十二條 出動部隊附衛生部々員ハ其本務ニ支障ナキ限り地方民ニ對シ應急ノ處置ヲ施スコトヲ得

第六章 通報、報告及記錄

第三十三條 軍隊ヲ出動セシメタル場合ニ於テハ情況ニ應シ日々若ハ適當ノ日時ニ

於テ關係各部隊ノ命令受領者ヲ警備司令部ニ參集セシメ會報ヲ行フモノトス
 第三十四條 出動部隊ハ出動直後ノ配置及爾後ニ於ケル其變更ハ機ヲ逸セス之ヲ報告スルモノトス

第三十五條 騷擾鎮壓ノ爲出動セル軍隊ハ絶エス其情況ヲ報告シ特ニ鎮定ノ目的ヲ達シタル時ハ速ニ其要旨ヲ報告シ後之ヲ詳報スルモノトス

第三十六條 出動部隊兵器ヲ使用シタル時ハ速ニ其要旨ヲ報告シ且最寄憲兵ニ通報シ後事由ヲ詳報スルモノトス

師團長ハ前項ノ場合要スルハ機ヲ逸セス法務官ヲシテ其事實ヲ審査セシメ調書ヲ作製シ警備司令官ニ報告スルモノトス

憲兵司令官ハ部下憲兵ノ事實調査報告ヲ受クレハ直ニ之ヲ警備司令官ニ報告スルモノトス

第三十七條 軍隊出動シタル時ハ師團、憲兵司令部及警備司令官直轄部隊ハ概ネ左

記項目ニ就キ警備句報ヲ提出スルモノトス

- 一 一般情況(警備ニ關係アル地方ノ民情等ヲ含ム)
- 二 軍隊ノ行動及配置
- 三 行政、司法ニ關スル事項並部外トノ連絡ニ關スル事項
- 四 航空、交通、通信、連絡ニ關スル事項(地方ノ情況ヲ含ム)
- 五 輸送ニ關スル事項
- 六 宣傳ニ關スル事項
- 七 衛生ニ關スル事項(地方衛生狀態ヲ含ム)
- 八 救護ニ關スル事項
- 九 作業ニ關スル事項
- 十 宿營、給養、經理、補給ニ關スル事項
- 十一 雜件

第三十八條 聯隊以上ノ諸隊（聯隊ヲ成ササル部隊ハ大隊）ハ警備勤務終了後（兵營歸著後）二週間以内ニ警備詳報五通ヲ提出スルモノトス

本詳報ハ用兵、教育、警備勤務、交通、通信、輸送、宿營、給養、經理、衛生、宣傳、作業、司法、行政其他ノ項目ニ分チ將來ノ參考ト爲ルヘキ各團隊ノ實驗及所見ヲ蒐集スルヲ目的トス

本詳報ハ一件毎ニ別紙トシ且毎紙部隊號ヲ記入スルモノトス

第三十九條 警備司令部内各部及警備ニ關係アル各部隊ハ陣中日誌ニ準シ警備日誌ヲ記録スルモノトス

0319

人員ヲ在營人員中ニ區分別記ス

准士官及上級職曹長ハ尉官ノ欄ニ伍長勤務上等兵ハ下士官ノ欄ニ又武器ヲ携行セスシテ出動セシメ得ル者ハ摘要欄ニ記載ス

補助憲兵トシテ派遣シ得ル人員ハ各相當欄ニ（ ）ヲ附シ輜重兵特務兵ハ特ノ字ヲ附シ相當官ハ朱記シテ區別別記ス

四 騎兵輜重兵ハ乘馬シテ出動スルモノトシテ調査ス